|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 2021第1,2,3 RUTC答え24(14)(社)世界福音化伝道協会　www.wedarak.net | | | |
| 2022年4月2日～ 4月3日週間祈りカード | | | |
| △産業宣教：237 と第1、2、3、RUTCの答え24  御座の祝福を味わう産業人(創14:14-20) | △核心訓練  伝道する個人、伝道する教会(使1:8) | △レムナント伝道学：伝道者の生活と第1、2、3RUTCの答え24  レムナントの霊性(Ⅰ列19:19-21) | △散らされた弟子たち/237、5000を生かす第1、2、3RUTCの答え24  対面伝道の最後の機会(使8:26-40) |
| エペ6:12私たちの戦いはサタンとの戦いだ。主権、力、宗教、暗やみをサタンが動かしているのだ。それゆえ、私たちの祈りが重要だ。どんな祈りを捧げなければならないのか。御座の力でなくてはならない。一人の祈りで御座を動かすことができる。  □序論  1.霊性(肉) -始まり  人間は霊的な存在であるから、霊性を先に備えなければならない。しかし、教会で話すことは全部肉的である。  2.知性(答え)-方法  私たちの方法は、神様のみことば、この名から出る答えに従って行くのだ。  動機x -それでこそ正確なことを握る。  3.未来性(絶対必要) -目標  未来性は絶対必要なことだ。これが私たちの目標だ。  ネフィリム－聖霊(御座) -この事実を認めて信じなければならない。勉強よりさらに重要なのが祈りだ。  □本論\_霊的なことを事実化、科学化、産業化させなさい←霊的問題  福音-御座の祝福を味わうことだ。  霊的問題- 3団体ネフィリムは事実化、科学化、産業化して霊的問題を作り出している。  1.世の中従って行かない御座の産業人  1)創13:14-18 「ロトがアブラムと別れて後」(14節) →  「立って、その地を縦と横に歩き回りなさい。わたしがあなたに、その地を与えるのだから。」このみことばを聞いて祭壇を築き始めたアブラハム  2)創14:14-20しもべ318人。ソドム王に勝って帰ってきたとき、戦利品をもらわず、十分の一をメルキゼデクにささげたアブラハム  3)創15:1 「わたしはあなたの盾である。あなたの受ける報いは非常に大きい。」  2.次世代を生かす御座の産業人  1)創15:2-5あなたの次世代、あなた自身から生まれ出て来る者に  2)創17:1-8子孫を約束  3)創21:1-7イサク出生、イシュマエルを追い出して最後の不信仰を捨てたアブラハム  3.世界を生かす御座の産業人  1)創22:1-19イサクをモリヤ山で捧げなさいと命令→世界福音化を約束  △御座の祝福を味わう祈りを捧げれば、それが私の目の前に正確に明るく見える。  2)創24:1-67イサクの結婚  3)創26:10-25(12)世界福音化のために100倍の祝福、泉の根源、レホボテの祝福  △どんな世界も変えることができる御座の祝福を味わいなさい。祈りがすべてだ。  □結論\_霊的時間を持ちなさい。  1.礼拝-神様が動く流れが見えるべき　2.定刻祈り-流れ征服  3.御座の祝福を味わう24 -流れを変える。 | □序論\_伝道以前に知らなければならないこと  1.時代の病を治すことが伝道運動  1)強大国、ユダヤ人、ローマ(中世時代)－間違った福音が宣べ伝えられて病気になった  2)ルネサンス時代－各種思想がたくさん出た  3)霊的問題時代-これを解決すると言いながら、さらに大きな問題を作り出す3団体  2.いやし- 3,9,3(これがすべてなので、直ちに常にこちらに戻りなさい)  1)受け入れる祈り　　2)伝達する祈り　　3)作品を作る祈り  △私は3,9,3が刻印されるほどゆっくり呼吸する。息を吐き出すときは、伝達するのだ。作品というのは、その日のスケジュールに現れるように祈ることだ。イエス様がこの祈りのほかは他の祈りをしないようにとおっしゃった(マタ5:3、6:8、6:10、6:32-33、10:7、使1:3)  3.成り立つこと  1) 70弟子に影響　　2) 70現場が開かれる。  3) 70種族とつながる　　4) 70の国とつながる  □本論\_どのように237、5000種族が可能なのか  1.非対面伝道237センター、RU　御座  237センターで使う戦略、全世界にRUを作る理由、御座の祝福9つを回復すること  1)奴隷　　2)戦争　　3)捕虜　　4)属国　　5)流浪民  △悟れなければ次世代がこのように行かなければならない。それでも悟れなければ行って死ぬ。悟った人は、このようにして世界化して、さらによく悟れば、行く必要もなく237になる。  2.対面戦略プラットフォーム、見張り場、アンテナ　RUTC、教会－5基礎  会えばこの人をプラットフォーム、見張り場、アンテナにしてしまわなければならない。それゆえ、RUTCを作るので、みなさんの教会が5つの基礎を確実にするのだ。  1)カルバリの丘、オリーブ山、マルコの屋上の間を確かに植えなければならない。  2)神の国  3)そのこと-御座の祝福  3.メディア戦略、書簡－内容　ただ、唯一性、再創造  これ(本論1,2)を持続しようとするとメディア戦略が必要だ。ただ、唯一性、再創造がメディアの核だ。  1) 第3-4次産業革命の人々を生かすことができる。  2)弟子化可能　　　　3)正しくなされた資料準備可能  □結論  1.予測  1)職業変動時代　　2)瞑想時代　　3)霊的病気時代  2.復活メッセージ(現実－2000年こと－永遠に持続することを見通したこと)  1)マタ28:16-20これ(結論1)を止める道(18、20節)、黙想の内容(19節)  2)マコ16:15-20  3)使1:8 | □序論\_だまされてはならないこと  1.キリスト教の失敗(福音x) -ローマ、世界へ福音が広がりながら福音ではないことが出てきた。  2.各種思想-哲学(天才の偏見) -すべて間違ったこと  3.3団体、宗教-この隙を利用して3団体、他の宗教が起き始めた  □本論\_偶像王国時代に神様がエリシャを呼ばれた。  1.時代-エリシャは最も重要な時代を見た。  1)I列19:1-8偶像のために霊的問題、わざわいが  2)I列19:18 7000弟子を残した。  3)I列19:19-21エリシャを呼びなさい  2.準備(次世代) -次世代を準備することが  重要だ。  1)Ⅱ列2:1(終わる)-エリヤ時代が終わる  2)Ⅱ列2:2-8(無知) -他の預言者のともがらは無知  3)Ⅱ列2:9-11 「私に長子の権威、霊の二つの分け前を与えてください」  3.プラットフォーム(霊的)  1)Ⅱ列5:1-27アラム将軍、ナアマンの病気を治す  2)ドタンの町-ドタンの町運動を行う  3)アハブ後遺症-いやしの力があるなら、プラットフォームになる。前にあった霊的問題を整理  □結論  1.間違った理論にだまされてはならない  2.科学は完成ではない。そこに留まってはならない  3.霊的状態  編集-霊的状態を正確に編集しなさい。  設計－すると神様の計画が見える。  デザイン－重要な現場を見てデザインすること  →これがRemnantの霊性訓練だ。 | □序論  1.出会い  1)最初　2)最後　3)永遠の機会  2.作品  1)プラットフォーム2)見張り場－光  3)アンテナ-正確なメッセージ  3.旅程  1)残りの者-その国のために神様が残された者、残る者、残れる者、残す者  2)どんな問題も関係ない巡礼者  3)暗やみに勝つ征服者  □本論\_隠された問題/霊的Elite  理由はあってはならない。完全にキリストの前に悟ってしまうべき  1.福音と救い-ここにとても感謝することが弟子  1)エペ2:8-10救われるようになった動機をなくすべき。恵みで救われたため  Iコリ12:3聖霊-キリストを主と告白  2)Iヨハ5:1-12イエスがキリストと信じる者は救われた  3)三位一体の神様－そのときから働き  2.福音とバプテスマ(体験)  1)水のバプテスマ－信仰のあかし、表現  2)聖霊のバプテスマ(使1:8、Iコリ3:16)  -信じる者に起こること  3.福音と祈り- 3,9,3祈れるように  1) Trinity(三位一体の神様)  2)御座の祝福9つ  3) 3時代-私の中に  □結論\_散らされた者-世界福音化することができるように神様が準備  1.エジプト　　2.バビロン　　3.ローマ  △キリストで終えるようにさせるべき。合うとき、日を計算すべき。 |
| 2021第1,2,3 RUTC答え24(14)(社)世界福音化伝道協会　www.wedarak.net | | | |
| 2022年4月2日～ 4月3日週間祈りカード | | | |
| △区域メッセージ  初代教会の弟子たちが味わった私の24(使2:42-47) | △聖日1部礼拝  この地と来世に置いて最も大きな者(マタ18:12-14) | △聖日2部礼拝/世界宣教大会献身礼拝  いやしの根本(マタ18:21-35) | |
| △世界を征服した初代教会弟子だ。状態がはるかに難しくて何もできない状況だったが、最も正確な世界福音化をした。この人たちの24は何だったのだろうか。  みことばの流れ- 「使徒たちの教えを堅く守り」みことばの流れを確認したのだ。  信徒の流れ- 「交わりをし」信徒が答えを受けるのにも流れがある  福音の流れ- 「パンを裂き」福音も生きている福音なので流れがある  祈りの流れ- 「祈りをしていた」、必ず祈りの答えも流れがある。  □序論\_教会(弟子)、次世代に向かって永遠に残る教会に関係することを見つけるべき  1.キリスト-キリストをしたのではなく、ただキリスト  2.神の国　3.聖霊-しかし（ただ）聖霊  □本論  1.1,3,8体験－初代教会の弟子はキリスト、神の国、しかし（ただ）聖霊にすべてのことを見つけて体験  1)使2:1それで起こった答えが「五旬節の日になって」  2)使2:17-18キリスト、神の国、聖霊を体験すれば、必ず未来が見える。  3)使2:46-47この人がこれを知って祈ったが「毎日宮で、毎日家で」  △使1:14さらに重要なのは1,3,8の契約を握って集まって切実な心で祈ったこと  2.教会の祝福-教会の本当に祝福が何か分かった。  1)マルコの屋上の間－マルコの屋上の間で起こったことが本当の祝福だ。  2)アンテオケ教会-アンテオケ教会で起きたことがなかったならば、どうするところだったのか。  3)ローマ教会-ロマ16章の人々が集まってローマを福音化したローマ教会  3.残すこと(ロマ16:25-27) -いくら小さいことでも本当に福音ならば残ることがある。神様が世々に渡って長い間隠されたこと、永遠にあることを残すこと  1)いのち運動-神の国に行ってもいのち運動は持続する  2)弟子運動－弟子運動が続くこと、正しい福音運動は必ず続けて起こる。からし種は目に見えないくらいものでも、種にはいのちがあるので、必ずこのようになる。  3)Remnant運動-祈っただけなのにRemnant運動に続く。  △これが初代教会だ。それ以前、以後にはモデルとなるものはない。私たちがこれを持って24すべき  □結論\_ 24  △私たちに与えられた時間は「24」、いつも始まりがキリストとともに、私たちの進行は急いだり、怠けたりする必要なく、神の国が臨むことよって、私たちの結論は世界福音化、ただ聖霊!残りことは残るものがない。  △もし次週、誰かに会うときは、あかし、教え、お使いをして、力を与えなければならない人、また直さなければならない人もいる。このとき、みことばの流れ、信徒の流れ、福音の流れ、祈りの流れをよく見れば、まちがいなく手で捕えられることが出てくるので、それを話せば良い。 | □序論\_聖書は福音とイスラエルが滅びた話を記録している。  1.イスラエルの滅びた話  1)強大国－サタンに捕えられて戦争と問題が起こる。  2)後進国－奴隷生活  3)イスラエル－神様の民は奴隷、捕虜、属国になってお使い。福音伝えてこそ世界が生かされるため  2.福音  1)食べて生きるために犯す自犯罪、神様を離れた原罪、原罪が何かも分からないだまされる罪  2)イエス様が来られておっしゃった、ただ一つ-神の国(マタ5:3、6:10、6:33、10:7、13章、12:28、使1:3)  3.本文  1)「それでは、天の御国では、だれが一番偉いのでしょうか。」-今日の信徒の心の中の質問  2)「この子どものように、天の御国で一番偉い人です。」-イエス様の叱責  □本論\_全く心配せずに新しく始めなさい。  1.実際の信仰生活をしない。人を見ることから抜け出せば無条件に働きが起こる。  1)利益、損害、困難、問題に会えば、神様を信じないで人を信じて、人を見るのろいから抜け出しなさい。  2)人を見る人々と神様のみことばを握って信仰生活した人々  (1)ヨセフの兄たちの信仰－イスラエル民族を奴隷に変えてしまった  (2)荒野でずっと恨んだ民たち  (3)信仰生活したことがなくて、みことばと遠い14人の士師時代－サムエル、ダビデをたてられた理由  (4)勢力争いをした中世時代のキリスト教－多くの哲学、わざわい、崩れる教会  (5)ここから出て神様のみことば(ロマ1:17)を話したルターを通して世界をひっくり返された。  2.子どものようになりなさい-神様を信じなさい。霊的世界は必ず起こる。  1)三位一体の神様と主の使いを動員して、みなさんを常に守られる(10節)  2)この事実を信じた証人-ヨセフ(創45:5)、みことばを握ったダビデ(Iサム17:37,17:45-47、詩23:1)、バビロンの三人の青年(ダニ3:16-18)、ダニエル(ダニ6:10)、エステル(エス4:16)、チュ・キチョル牧師(一死覚悟)、アン・イスク女史、クロスビー  3.子どもひとりも見下してはならない  1)本当に神様を信じて神様の力を分かるならば  2)百匹の羊の中でなくした一匹の羊を見つけた羊飼いの心(12-14節)  3)世界を征服したマルコの屋上の間の弟子120人-どこから抜け出さなければならず、なぜ子どものようになりなさいと言われたのか、何を握って回復しなければならないかをわかった。  □結論\_今、契約を握って体験しなければならない。  1.人を見るサタンの戦略から抜け出しなさい。  2.どんな場合も落胆せず御座の働きを味わうその神様を見上げなさい  3.次世代を生かさなければならない。 | △24、いやし、力　使1:3,8:14,2:1-47 -今から一つ主題をおいて24祈りを継続すれば、ものすごいいやし、力が生まれる。今、全世界を宣教するのは、いやすことだ  □序論\_宣教をおいてずっと祈れば、答えがいくつかが与えられる。  1.答え  1)使2:9-11、8:4-8、8:26-40、11:19、13:1-4、16:6-10、19:1-7  2) 237、いやし、サミット　　3) 70弟子、70現場、70種族、70の国  2.いやし(隠れた傷) -すべての人には隠れた傷がある。  1)強大国－完全にサタンに捕えられてお使い  2)先進国－とてもゆっくり、正確にする  3)後進国－傷が多いが表に出さないでとても遅い  4)難民　5)戦争国－戦争の被害を受けている国  地獄、背景  ↓  エペ2:2,エペ6:12  ↓  サタン- 12戦略  ↓  世の国(ヨハ8:44)  3.　　　　　　　　　　　△世の国を見てヨハ8;44節に「あなたたちの父である悪魔」と言われる、目に見えないようにサタンは12の戦略を使って人を殺す。また、サタンが空中の権威を握って、天にいるもろもろの悪霊を持って攻略して、地獄の背景を持って制するが、これを解決することが宣教だ。  □本論\_神様の愛、赦し(神様の基準)  △神様は神様の愛ですべての民を救って赦すことを願われる。暗やみ、サタン、わざわいに陥らない条件は、ただキリストの信仰によって救いだされること以外ない。   |  | | --- | | 240万ポンド-1万タラント、返せないから免じてあげた | | 5ポンド－100デナリ |   1.世界－いやし、全世界を神様は赦しと愛でいやしなさいということ  1) 3つののろい-キリストは3つののろい、地獄の背景、サタンの背景、わざわいを完全に終わらせた  2) 3.9.3 -三位一体の神様、御座、3時代を生かす力でともにおられる  3)次世代-あなたたちの次世代に伝達すること  2.サタン－国(人),完全にサタンの子どもになった人々、この国をいやしなさいということ  1)戦争-強大国はサタンのお使いをして戦争を起こして人を殺す、この暗やみの権威を縛るべき  2)奴隷(237) – 237か国はここに奴隷になっている。  3) 5000 - (シャーマニズム)、5千種族の次世代は完全にシャーマニズムに捕らわれている。  3.お使い－イスラエル、彼らのお使いをするイスラエルをいやしなさいということ、これが宣教  1)奴隷　　　2)捕虜　　　3)属国　　　4)流浪民  □結論  1.プラットフォーム(いやし) 2.見張り場(光) 3.アンテナ(メッセージ)  △いやすこの答えを味わって祈ればプラットフォームが作られて、そのプラットフォームで光が照らせば見張り場になり、上から与えられるメッセージが聞こえるようになることがアンテナだ。 | |